

CONTENTS

Section 01

イントロダクション

コーポレートストーリー	1
経営理念／基本姿勢／私達らしさ	2
目次／本報告書のポイント／編集方針	4
私達らしさから見るリコーリースグループ	6
リコーリースグループの目指す姿	8
事業分野と社会の接点	10
あゆみとビジネスモデルの変遷	12

Section 02

持続的な価値創造への原動力

社長メッセージ	14
価値創造プロセス	20
ビジネスモデル	22

Section 03

価値創造を推進する重点戦略

中期経営計画進捗	24
財務戦略	26
特集対談	28
システム戦略	32
人事戦略	33
営業担当役員メッセージ	38
セグメント別業績	40
事業分野別リスクと機会	42
事業分野別戦略・本部長メッセージ	44

Section 04

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ経営の推進	48
非財務目標	50
リコーリースグループの 気候変動に対する取り組み	52
クリーンな地球環境をつくる	54
豊かな暮らしをつくる	61
持続可能な経済の好循環をつくる	65
ハピネスな会社、そして社会をつくる	68

Section 05

コーポレート・ガバナンス

役員紹介	74
社外取締役対談	76
コーポレート・ガバナンス	80
コンプライアンス	86
リスクマネジメント	87

Section 06

データ

主要財務データの推移	90
財務・非財務ハイライト	92
ESG データ／会社情報・株式情報	94

編集方針

- 株主や投資家の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーに対し、リコーリースグループの価値創造のための考え方や取り組みをご理解いただくために、「統合報告書」を発行しています。経営理念や中長期ビジョン『循環創造企業へ』の考え方や戦略をお示しし、当社グループのこれまでの歩みと、持続的な成長に向けたコーポレートストーリーについて開示することを目的としています。
- 「統合報告書2024」では、コーポレートストーリーを軸に、財務・非財務情報の両面から、サステナビリティ経営を中心に編集しています。社長の中村をはじめとした各取締役のメッセージや、社外取締役対談、有識者との対談などエンゲージメント実施の様子も掲載しました。
- 本報告書の作成にあたり、IFRS財団（旧 VRF）が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省の「価値協創ガイド」を参考に、ステークホルダーの関心や期待事項を検証し、経営陣をはじめ、社内外のヒアリングなどを経て、報告すべき重要なテーマを選定・決定しています。
- 対象期間：2023年度（2023年4月～2024年3月）※一部、対象期間外の情報も含んでいます
- 対象範囲：リコーリース株式会社、テクノレント株式会社、エンプラス株式会社、株式会社Welfareすずらん、東京ビジネスレント株式会社
- 発行時期：2024年9月
- 報告書に関するお問い合わせ：リコーリース株式会社 経営管理本部 経営企画部 TEL.050-1702-4203

将来予測記述に関する特記

本報告書には、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、将来の戦略や予想なども記載しています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づく将来の予測であり、実際にはさまざまな要素により、事業活動の結果や実績が予想とは異なる可能性があります。

本報告書のポイント

1 リコーリースらしさ、DNA について解説

リコーリースが何を大事にしてきて、どのようなDNA（強み）があるのか、リコーリースらしさをもとにどのような価値を生み出し、そして、これから何を目指して、どのように進んでいくのか。リコーリースの根本となるコーポレートストーリーを説明しています。

P.1-3,6-12

2 人事戦略の開示の拡充

人事戦略の全体像に加えて、本年はインパクトパスを策定しました。人事の施策がどのように事業へインパクトを与えていくのが可視化されています。策定したインパクトパスは今後、社内でも実効性を高めていきます。

P.33-37

3 事業分野の開示の拡充

分野別のリスク、機会と強みを新たに開示し、事業ポートフォリオも3カ年分開示することで道筋を示しています。また、各本部長メッセージとともに各事業の進捗、業績を開示しています。

P.42-47

情報開示体系

当社グループは以下の体系で財務および非財務情報を開示しています。最新の情報は当社Webサイトをご覧ください。

